

## - 原著 -

介護者に口腔ケア意識を啓発するためのパンフレット  
介護者の理解と活用状況のアンケート

右近 さゆり<sup>1)</sup>, 佐藤 真里<sup>1)</sup>, 石井 結里<sup>1)</sup>, 小林 富佐子<sup>1)</sup>,  
村山 昌子<sup>1)</sup>, 柴田 佐都子<sup>2)</sup>, 豊里 晃<sup>3)</sup>, 野村 修一<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>新潟大学医歯学総合病院 看護部

<sup>2)</sup>新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 歯科衛生部門

<sup>3)</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科 歯科侵襲管理学分野 (主任, 染矢源治教授)

<sup>4)</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科 加齢歯科補綴学分野 (主任, 野村修一教授)

A pamphlet to enlighten the nursing personnel on  
oral care to the dependent elderly

Questionnaire survey on the understanding of the nursing personnel  
and the pamphlet utilizing condition

Sayuri Ukon<sup>1)</sup>, Mari Satoh<sup>1)</sup>, Yuuri Ishii<sup>1)</sup>, Fusako Kobayashi<sup>1)</sup>,  
Shoko Murayama<sup>1)</sup>, Satoko Shibata<sup>2)</sup>, Akira Toyosato<sup>3)</sup>, Shuichi Nomura<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> Nurse Division of Niigata University Medical and Dental Hospital

<sup>2)</sup> Medical Care Support Division, Dental Hygiene Department

<sup>3)</sup> Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Course for Oral Life Science,  
Division of Dental Anesthesiology

<sup>4)</sup> Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Course for Oral Life Science,  
Division of Oral Health in Aging and Fixed Prosthodontics

平成 17 年 11 月 1 日受付 11 月 30 日受理

Key words : 口腔ケア, 啓発用パンフレット, 介護者, アンケート

Abstract:

Purpose: To enlighten the nursing personnel on oral care to the dependent elderly, a pamphlet was developed in collaboration with dentists, nurses and dental hygienists. A questionnaire survey on the understanding of the nursing personnel and the pamphlet utilizing condition was carried out.

Materials and methods: The pamphlet was written in plain terms and was mainly constituted of photos and illustrations, to underscore the importance and to explain how to practice the oral care of the dependent elderly. The pamphlets were mailed to the nursing personnel in charge of 46 nursing-care facilities in Niigata city, accompanied with a questionnaire that asked about the present oral care conditions of the residents, the pamphlet utilizing conditions and changes in the oral conditions after the pamphlet use.

Results and discussion: Answers were obtained from 27 facilities (the collect rate was 58.7%). All nursing personnel answered that they could understand the contents and they used the pamphlet for the staff training in oral care practice methods.

It was suggested that this pamphlet increased the staff recognition of oral care importance and helped in the practice of oral care in nursing-care facilities.

【目的】要介護高齢者への口腔ケアを定着させる目的で、歯科医師、看護師、歯科衛生士が連携して、介護者の口腔ケア意識を啓発するためのパンフレットを作成した。このパンフレットに対する介護者の理解と活用状況をアンケートにて評価した。

【方法】パンフレットは要介護高齢者への口腔ケアの必要性和実践法を啓発する内容とし、平易な用語を用い、写真やイラストを中心にデザインした。新潟市内介護施設（計46施設）の介護担当責任者にパンフレットを配布し、口腔ケアの現状、パンフレットの活用状況、活用後の変化に関するアンケートを郵送法で送付、回収した。

【結果および考察】回収率は58.7%（27施設）であった。回収できた27施設すべてから内容が「理解できた」との回答が得られ、作成したパンフレットは介護者にとってわかりやすいものであった。パンフレットはスタッフ教育やケア方法の取得などスタッフ間での活用が多かった。パンフレット活用後は、スタッフの口腔ケアの認識向上、ケア方法の確立、ケアを新たに実践などの変化が見られた。このように、今回のパンフレットは介護者の口腔ケアへの知識や意識を高めるとともに、介護施設で口腔ケアを実践するきっかけとなったと推察できた。

## はじめに

近年、口腔ケアによって口腔衛生状態や咀嚼能力の改善をはかることで誤嚥性肺炎の減少や、ADLの改善に有効であることが周知されてきた<sup>1)2)</sup>。平成16年、厚生労働省における施策に介護予防サービスの一つとして口腔機能の向上を目指した口腔ケアが取り上げられた。しかし、要介護者の9割が何らかの歯科治療や口腔ケアが必要であるにもかかわらず、要介護状態になってから歯科受診を希望し、実際に受診したのは3割にも満たなかったとの報告がある<sup>3)</sup>。こうした中、要介護高齢者に対する口腔ケアの定着をはかるためには、医療従事者や家族を含めた介護者に対する口腔ケアの正しい認識、技術を提供する必要がある<sup>4)5)</sup>。

今回、歯科医師、看護師、歯科衛生士が連携し、介護者の口腔ケア意識を啓発するためのパンフレットを作成した。さらに、作成したパンフレットに対する介護者の理解と活用状況をアンケートによって評価したので報告する。

## 方法

### 1. パンフレットの作成

パンフレットは要介護高齢者への口腔ケアの必要性和実践法を啓発する内容とし、歯科医師、看護師、歯科衛生士の3医療職種で構成された口腔ケア研究会のメンバーで作成した（図1）。介護の現場でも活用できるように、A4サイズ用の紙を3つ折りにして、表面にはQ&A形式による口腔ケアの必要性和、義歯の取り扱いや口腔ケア用品の紹介を載せた（図2）。裏面には摂食・嚥下機能を高めるためのリラクゼーション法や、口腔ケアの実践法と観察ポイントを載せた（図3）。家族を含めた介護者が理解できるように平易な用語と内容にして、写真やイラストを中心にデザインした。



図1. 作成したパンフレット「家庭でできる口腔ケア」

### 2. アンケート

新潟市内の介護施設46施設における介護担当責任者46名を対象にしてアンケートを行った。アンケートの主な調査項目はパンフレットの理解度、活用状況、パンフレット配布前後における口腔ケアの内容であった。

アンケートは2004年8月20日から2005年1月12日の期間に2回実施した。いずれもパンフレットとアンケート用紙を郵送法で送付し回収した。1回目のアンケートの目的は、パンフレット配布時の各施設における口腔ケアの現状を把握することであった。2回目のアンケートの目的は、パンフレット配布から1ヵ月後におけるパンフレットの理解度、活用状況、口腔ケアの変化などを把握することであった。アンケートの内容を図4,5に示す。

なお、倫理的配慮として本調査への同意が書類によって得られた施設のみを対象とした。